

2021年3月期 決算説明会資料

2021年5月24日
水戸証券株式会社

当期の決算説明会は新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を見合わせました。
ホームページへの決算資料掲載および決算説明の動画配信をもって代えさせていただきます。

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の有価証券の売買を勧誘するものではありません。本資料は、2021年3月末現在のデータに基づいて作成しております。なお、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また今後、予告なしに変更されることがあります。



第一部 決算の状況(2021年3月期)

・ 2020年度の株式市況		4	・ トレーディング損益の内訳		9
・ 決算概況		5	・ 販売費・一般管理費の内訳		10
・ 営業収益の内訳		6	・ 貸借対照表		11
・ 受入手数料の科目別内訳		7	・ 財務の状況		12
・ 主要な収益の内訳		8			

第二部 経営戦略

・ 当社の特徴		14	・ 2021年度 経営方針		22
・ 沿革(100年のあゆみ)		15	・ 株主還元		23
・ 経営ビジョンと第五次中期経営計画 骨子		16	・ ガバナンス体制		24
・ 2020年の経営指標に対する進捗		17	・ お客さま本位の業務運営		25
・ 安定収益基盤の強化		18	・ 働き方改革・健康経営		26
・ マーケット対応力の強化		19	・ 店舗展開		27
・ サポート態勢の強化		20	・ 新型コロナウイルス感染症への対応		28
・ 2020年度の主な成果と課題		21	・ SDGsに関する取り組み		29

＜参考資料＞		30
--------	-------	----



第一部 決算の状況

2021年3月期

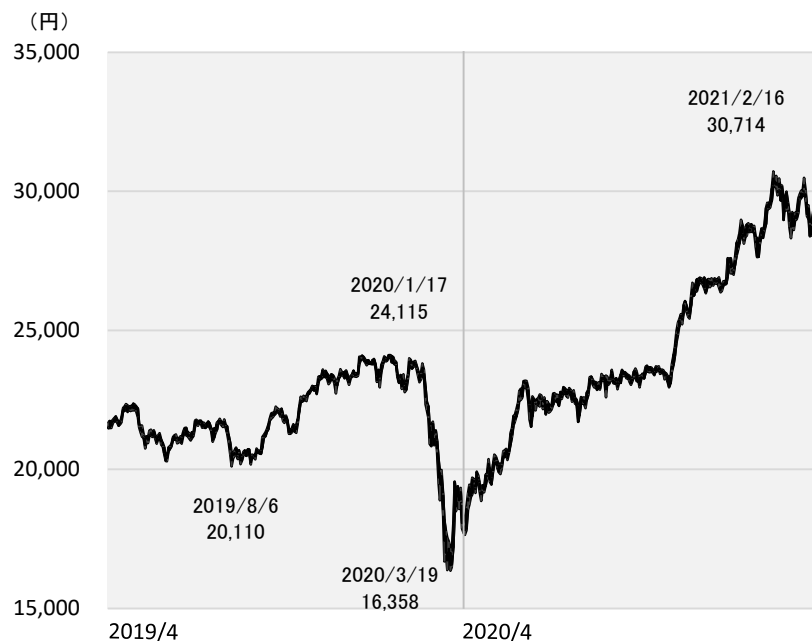


2020年度の株式市況

MITO SECURITIES CO., LTD.

- 前年度末のコロナショックによる急落から上昇する展開。年明け早々には首都圏などで2度目の緊急事態宣言が発令されるも、世界経済の回復期待が勝り、2月には30年6ヶ月ぶりに日経平均が30,000円台の大台を回復。

■ 日経平均株価



■ ニューヨークダウ

(出所) QUICK より当社作成
2019年4月1日～2021年3月末



■ 2021年3月末終値データ

日経平均株価
29,178円80銭

ニューヨークダウ
32,981.55ドル

米ドル/円相場
110.70円

東証一部
株式時価総額
722兆6304億円

東証一部(3月)
一日平均売買代金
3兆4688億円



決算概況

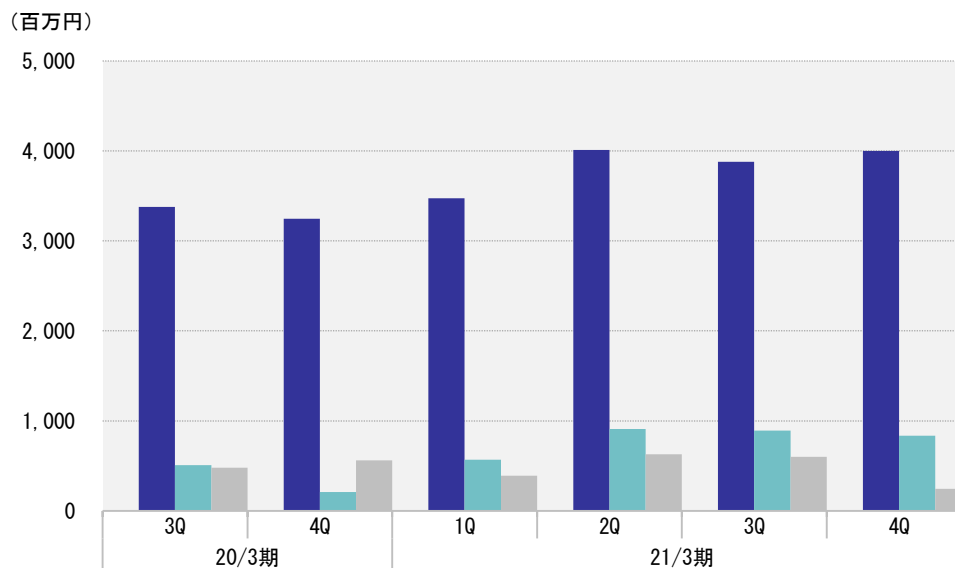
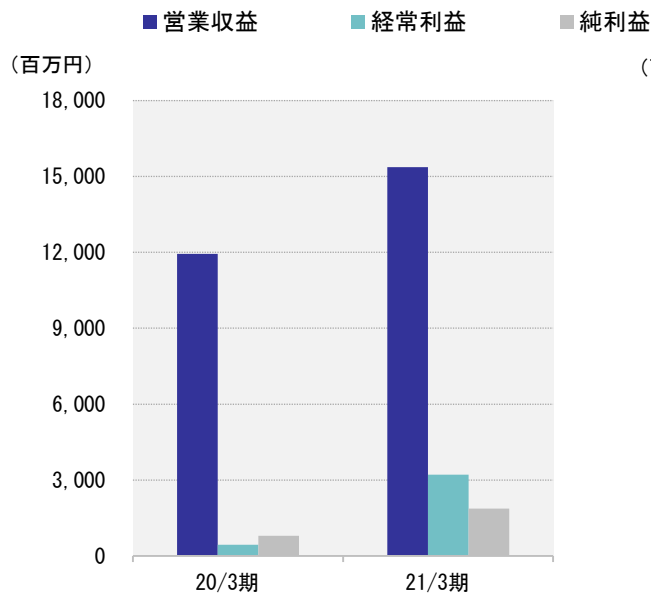
MITO SECURITIES CO., LTD.

- 好調な株式相場を背景に、営業利益は大幅に増加。

(百万円)

	累計		
	20/3期	21/3期	前期比
営業収益	11,946	15,366	128.6%
純営業収益	11,876	15,294	128.8%
営業利益	7	2,817	39,816.2%
経常利益	441	3,207	726.0%
純利益	791	1,868	236.0%

四半期							
20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
3,377	3,247	3,474	4,009	3,880	4,001	103.1%	123.2%
3,356	3,232	3,459	3,989	3,860	3,985	103.2%	123.3%
370	168	404	870	743	798	107.3%	475.2%
508	211	567	911	891	836	93.8%	395.0%
481	561	391	628	602	245	40.7%	43.7%





営業収益の内訳

MITO SECURITIES CO., LTD.

- 受入手数料は、主に株式の委託手数料が伸び、前期比146.4%と増加
- トレーディング損益は、株券等で自己取引の売買高が減少し、前期比55.6%と減少

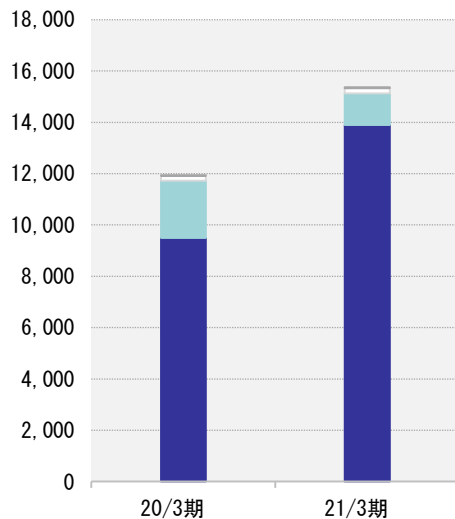
(百万円)

	累計		
	20/3期	21/3期	前期比
受入手数料	9,489	13,891	146.4%
トレーディング損益	2,231	1,239	55.6%
金融収益	187	198	105.9%
その他の営業収益	37	36	97.8%
営業収益	11,946	15,366	128.6%

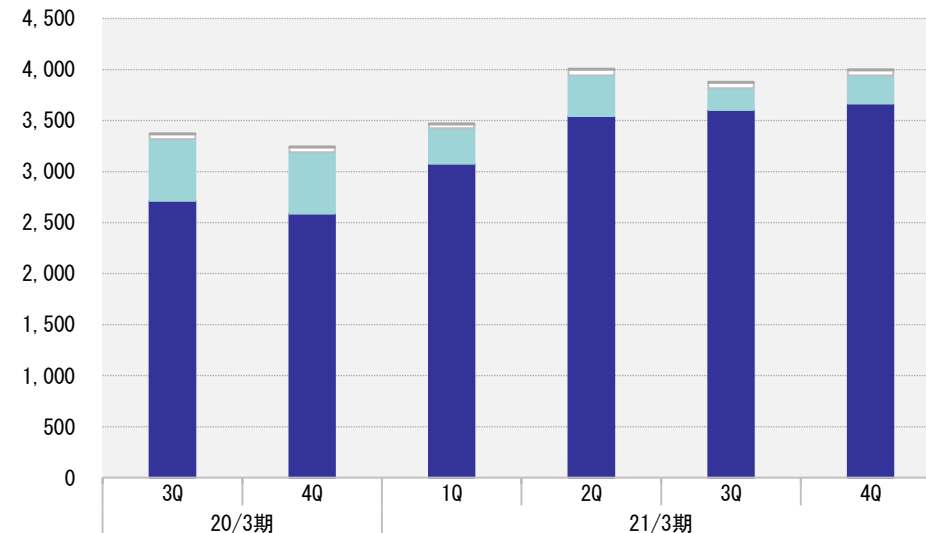
四半期							
20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
2,712	2,587	3,076	3,544	3,603	3,666	101.7%	141.7%
608	603	349	400	214	275	128.3%	45.6%
46	46	39	55	53	51	96.1%	110.4%
9	9	9	9	9	9	101.3%	98.9%
3,377	3,247	3,474	4,009	3,880	4,001	103.1%	123.2%

■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 □ 金融収支 ■ その他の営業収益

(百万円)



(百万円)





受入手数料の科目別内訳

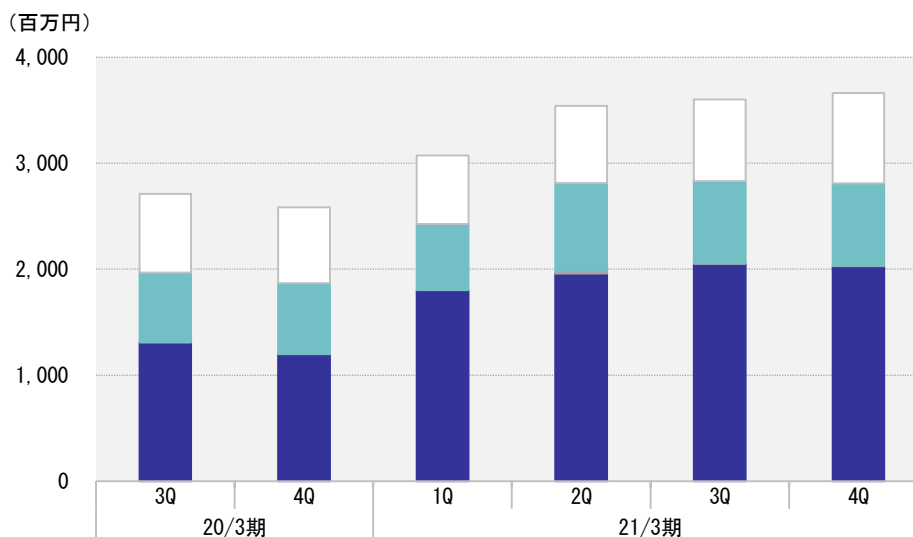
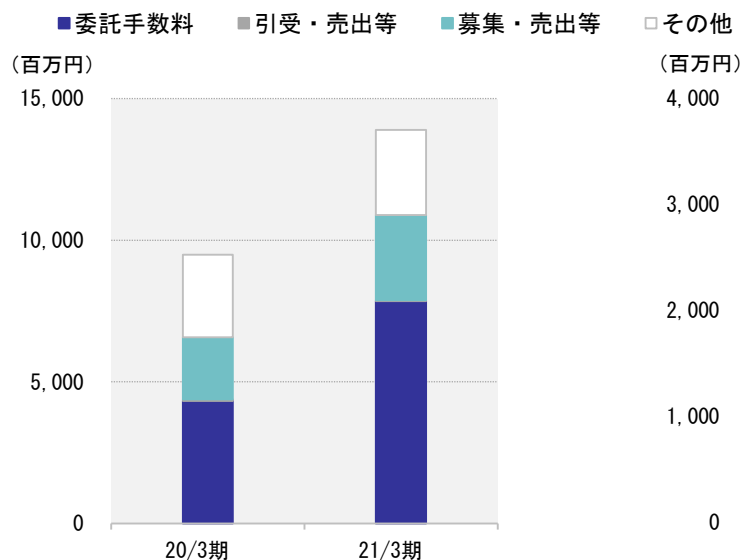
MITO SECURITIES CO., LTD.

- 委託手数料は、主に株券委託売買金額が伸び、前期比181.2%と大幅に増加
- 募集・売出等の取扱手数料は、世界のAI関連企業の株式等に投資する投資信託の販売が好調で、前期比137.2%と増加

(百万円)

	累計		
	20/3期	21/3期	前期比
委託手数料	4,330	7,845	181.2%
引受・売出等の手数料	57	41	72.7%
募集・売出等の取扱手数料	2,186	3,001	137.2%
その他の受入手数料	2,915	3,002	103.0%
受入手数料	9,489	13,891	146.4%

四半期							
20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
1,309	1,197	1,803	1,960	2,053	2,028	98.8%	169.4%
2	4	0	32	2	6	214.5%	123.5%
658	669	623	821	778	776	99.7%	116.1%
742	715	649	729	768	854	111.2%	119.4%
2,712	2,587	3,076	3,544	3,603	3,666	101.7%	141.7%





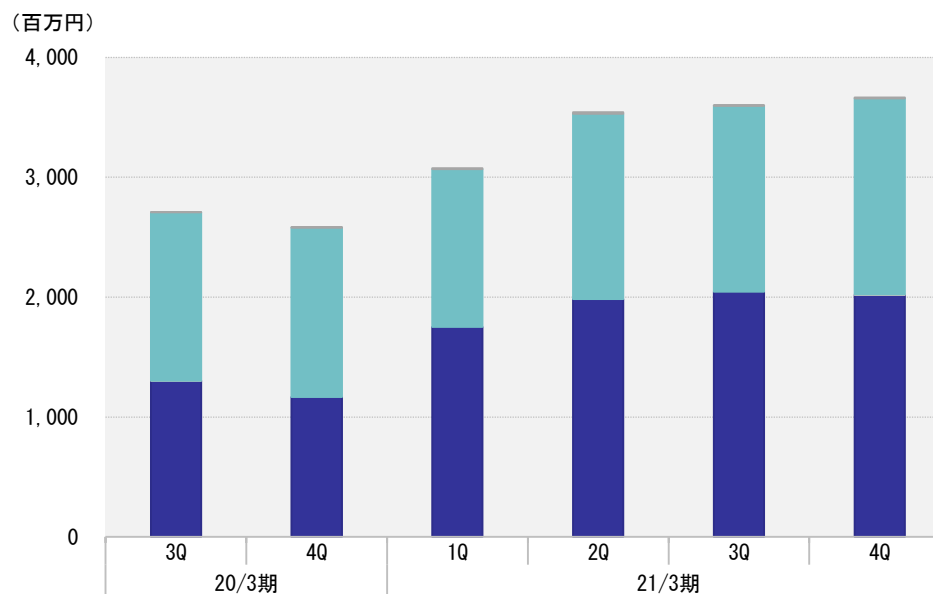
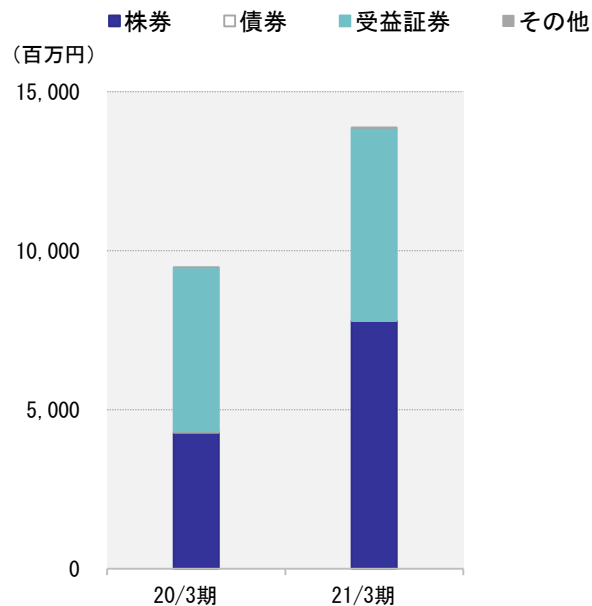
受入手数料の商品別内訳

MITO SECURITIES CO., LTD.

- 株券は、国内外ともに委託手数料が増加し、前期比182.3%と大幅に増加
- 受益証券は、投資信託の販売が順調に伸び、増加

	累 計		
	20/3期	21/3期	前期比
株券	4,279	7,803	182.3%
債券	46	5	11.7%
受益証券(投資信託)	5,144	6,047	117.5%
その他	19	34	181.8%
受入手数料	9,489	13,891	146.4%

四半期								
20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比	
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
1,302	1,167	1,752	1,984	2,045	2,020	98.8%	173.0%	
1	0	0	0	0	4	1,996.0%	539.1%	
1,404	1,413	1,315	1,546	1,551	1,634	105.4%	115.6%	
4	5	8	12	6	7	103.8%	126.4%	
2,712	2,587	3,076	3,544	3,603	3,666	101.7%	141.7%	

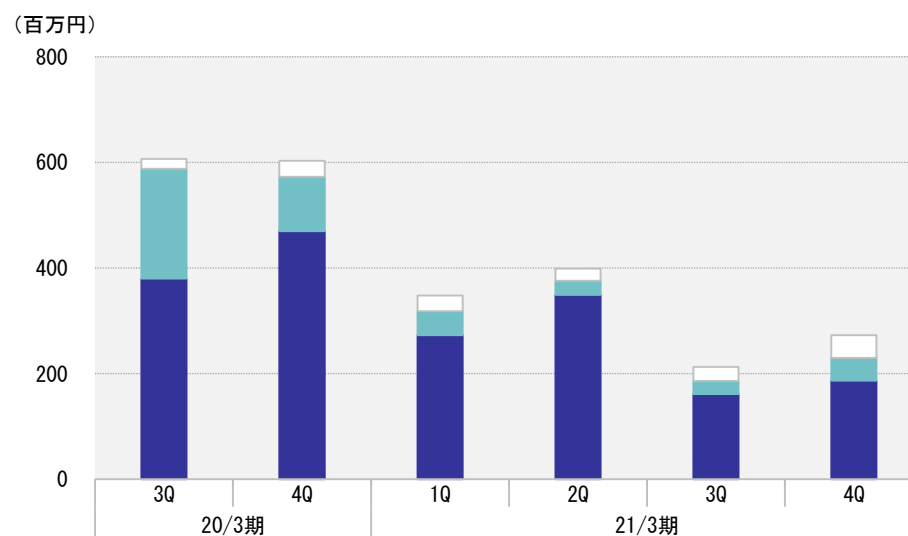
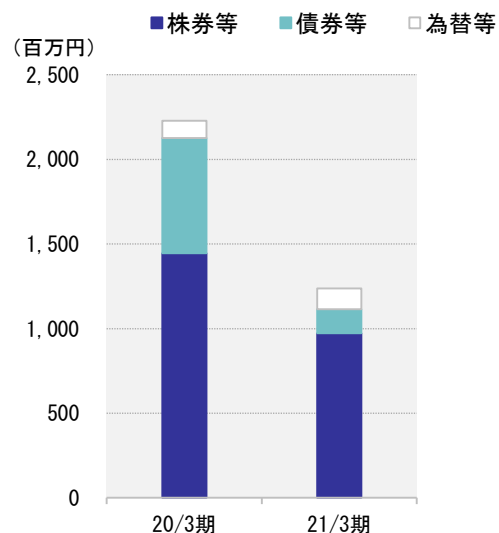


- 株券等が自己取引の売買高の減少により前期比67.2%と減少
- 債券・為替等は、仕組債（公募債）等の販売を見合わせていることから、前期比34.1%と減少

（百万円）

	累計		
	20/3期	21/3期	前期比
株券等	1,446	972	67.2%
債券・為替等	784	267	34.1%
（債券等）	680	142	20.9%
（為替等）	103	124	120.3%
トレーディング損益	2,231	1,239	55.6%

四半期								
20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比	
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q			
380	470	273	349	161	187	116.6%	39.9%	
227	133	75	50	53	87	163.8%	65.4%	
208	103	45	27	25	43	169.7%	42.6%	
19	30	30	23	27	43	158.3%	142.6%	
608	603	349	400	214	275	128.3%	45.6%	





販売費・一般管理費の内訳

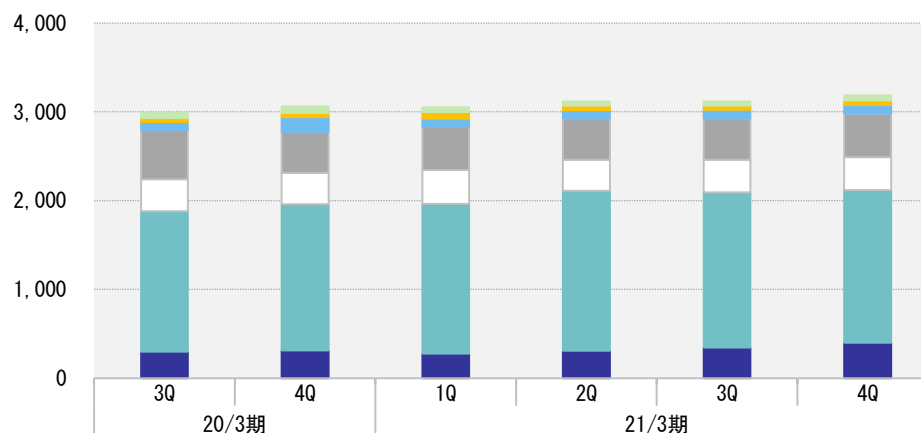
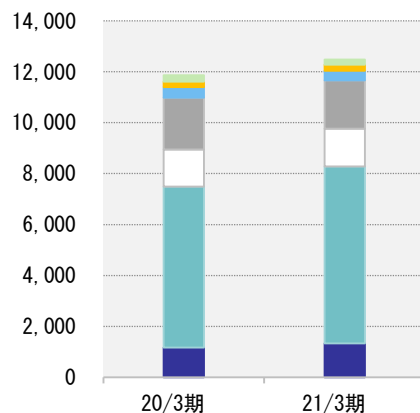
MITO SECURITIES CO., LTD.

- 賞与などの人件費が増えたことから、前期比105.1%と増加

(百万円)

	累計			四半期							
	20/3期	21/3期	前期比	20/3期		21/3期				前四 半期比	前年 同期比
				3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
取引関係費	1,178	1,330	112.9%	297	312	275	308	346	399	115.3%	127.9%
人件費	6,310	6,956	110.2%	1,582	1,647	1,686	1,803	1,746	1,720	98.5%	104.4%
不動産関係費	1,458	1,471	100.9%	360	353	383	350	367	369	100.5%	104.4%
事務費	2,040	1,905	93.4%	557	461	483	464	466	492	105.6%	106.5%
減価償却費	415	380	91.5%	88	165	94	92	95	97	102.4%	59.3%
租税公課	203	230	113.1%	45	48	77	53	50	48	97.5%	101.7%
その他	262	203	77.6%	55	75	52	45	45	60	132.4%	79.4%
販売費・一般管理費	11,869	12,477	105.1%	2,986	3,064	3,054	3,118	3,116	3,187	102.3%	104.0%

■取引関係費 ■人件費 □不動産関係費 ■事務費 ■減価償却費 ■租税公課 ■その他



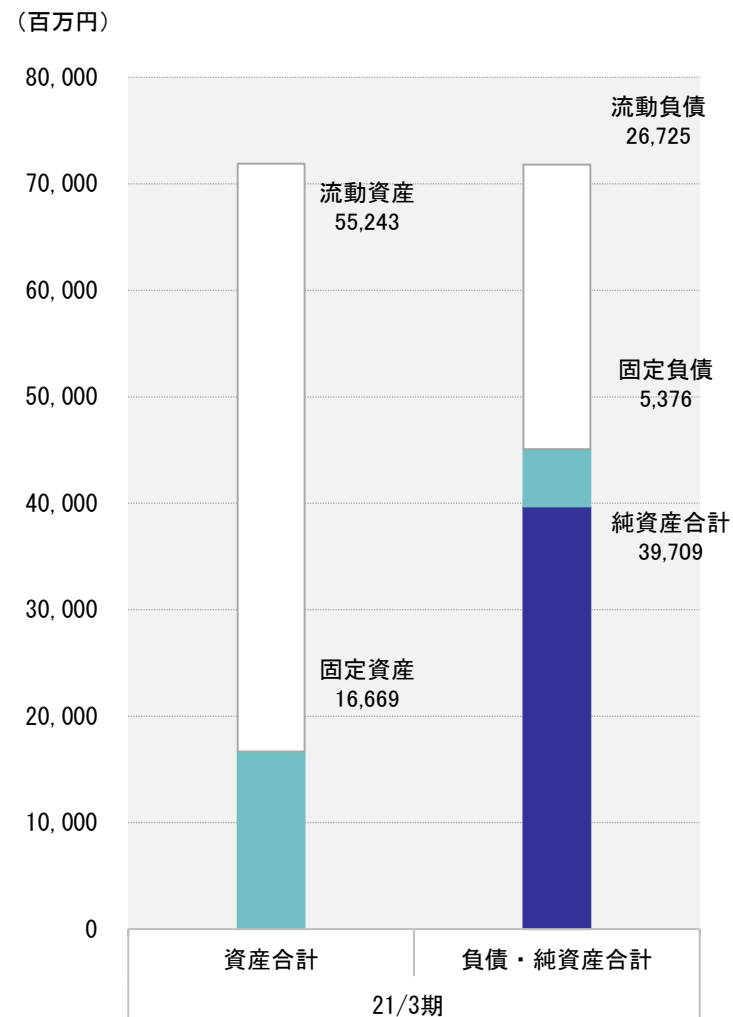


貸借対照表

MITO SECURITIES CO., LTD.

■ 純資産は、「剰余金の配当」で減少する一方、「その他有価証券評価差額金」「当期純利益」が増えたことにより、前年末比 31億74百万円増加

	(百万円)		
	20/3期	21/3期	前期末比
資産の部			
流動資産	46,345	55,243	119.2%
固定資産	14,595	16,669	114.2%
資産合計	60,940	71,912	118.0%
負債の部			
流動負債	19,814	26,725	134.9%
固定負債	4,492	5,376	119.7%
負債合計	24,405	32,203	131.9%
純資産の部			
純資産合計	36,535	39,709	108.7%
負債・純資産合計	60,940	71,912	118.0%





- 当期純利益の大幅な増加に伴い、ROE(自己資本当期純利益率)は4.9%に改善
- 自己資本規制比率は、前期比15.4ポイント下がるも、697.1%と引き続き高い水準を維持

(百万円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
有利子負債	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750
純資産	38,026	40,394	38,070	36,535	39,709
総資産	62,759	67,852	63,345	60,940	71,912
1株当たり純資産	538.71円	580.47円	548.13円	568.34円	617.58円
自己資本比率	60.6%	59.5%	60.1%	60.0%	55.2%
自己資本規制比率	700.2%	658.8%	674.8%	712.5%	697.1%
経常利益	1,437	3,347	▲142	441	3,207
当期純利益	962	2,584	184	791	1,868
1株当たり純利益	13.57円	36.93円	2.66円	11.86円	29.05円
ROA(総資産経常利益率)	2.4%	5.1%	▲0.2%	0.7%	4.8%
ROE(自己資本当期純利益率)	2.5%	6.6%	0.5%	2.1%	4.9%
配当性向	51.6%	54.2%	150.4%	67.4%	55.1%
純資産配当率	1.3%	3.6%	0.7%	1.4%	2.7%



第二部 經營戰略

■創業100周年

- ・1921年(大正10年)4月1日、茨城県水戸市で創業

■自主独立

- ・変動・再編の激しい業界で、一貫して自主独立を堅持

■地域密着

- ・お客さまとの距離の近さ
- ・関東一円が中心の営業エリア、地域密着型の営業スタイルを展開

■リテール営業

- ・対面リテール主体、ネットチャネルも展開する総合証券

■安定的な財務基盤

- ・自己資本規制比率は697.1%、自己資本397億円に対し有利子負債は27億円、固定資産は166億円と安全性の高い経営体制を構築





2021年4月1日、創業100周年

水戸証券100年のあゆみ 2021年4月1日、当社は創業100周年を迎えました。



2021年4月

MITO
100

おかげさまで100周年
～そしてこれから～

昭和2年6月	昭和17年8月	昭和19年6月	昭和31年4月	昭和43年4月	昭和49年4月	昭和54年1月	昭和62年9月	昭和63年3月	平成10年12月	平成11年9月	平成16年11月	平成19年2月	平成19年9月	平成20年12月	平成22年9月	平成23年9月
1927	1942	1944	1956	1968	1974	1979	1987	1988	1998	1999	2004	2007	2008	2010	2011	
商号を小林株式会社に改称		有価証券業整備要綱に基づき水戸証券(株)を改称、商号を水戸証券(株)とする	商号を小林証券(株)に変更	協同証券(株)(形式上の存続会社)と合併し商号を水戸証券株式会社に変更、本社を東京都中央区日本橋兜町二丁目に移転	改正証券取引法に基づき証券業免許取得	初テレビCM水戸黄門シリーズ放映	本社を東京都中央区日本橋三丁目に移転	コーポレートスローガン、新シンボルマークの制定、名古屋証券取引所正会員となる	改正証券取引法に基づき証券業者として登録	インターネット取引開始	改正証券取引法に基づき有価証券店頭デリバティブ取引業務の認可取得	金銭商品取引法に基づき金銭商品取引業者として登録	金銭商品取引法に基づき金銭商品取引業者として登録	水戸マルチャネルサービス開始	米国株式の委託取引を開始	

1920年 1930年 1940年 1950年 1960年 1970年 1980年 1990年 2000年 2010年 2020年

- 1921年 (大正10年) 4月
小林静が岸正と共同出資で証券業「小岸商会」を開業



創業者 小林静

- 1948年 (昭和23年) 10月
証券取引法に基づき証券業者として登録



業容の拡大に伴い茨城県水戸市南町に新社屋を建設 (1949年5月)

- 1985年 (昭和60年) 7月
総合証券となる



総合証券として一新された入社案内

- 1989年 (平成元年) 4月
東京証券取引所市場第二部に上場



上場記者会見後、祈念のダルマに成就の目を入れる
小林一彦社長



- 2001年 (平成13年) 9月
東京証券取引所市場第一部に指定

東証一部指定を果たし記念撮影

- 2009年 (平成21年) 1月
投資運用業として「水戸ファンドラップ」の取扱いを開始



主力商品に成長した水戸ファンドラップ

- 2015年 (平成27年) 4月
中長期経営計画「経営ビジョン」策定

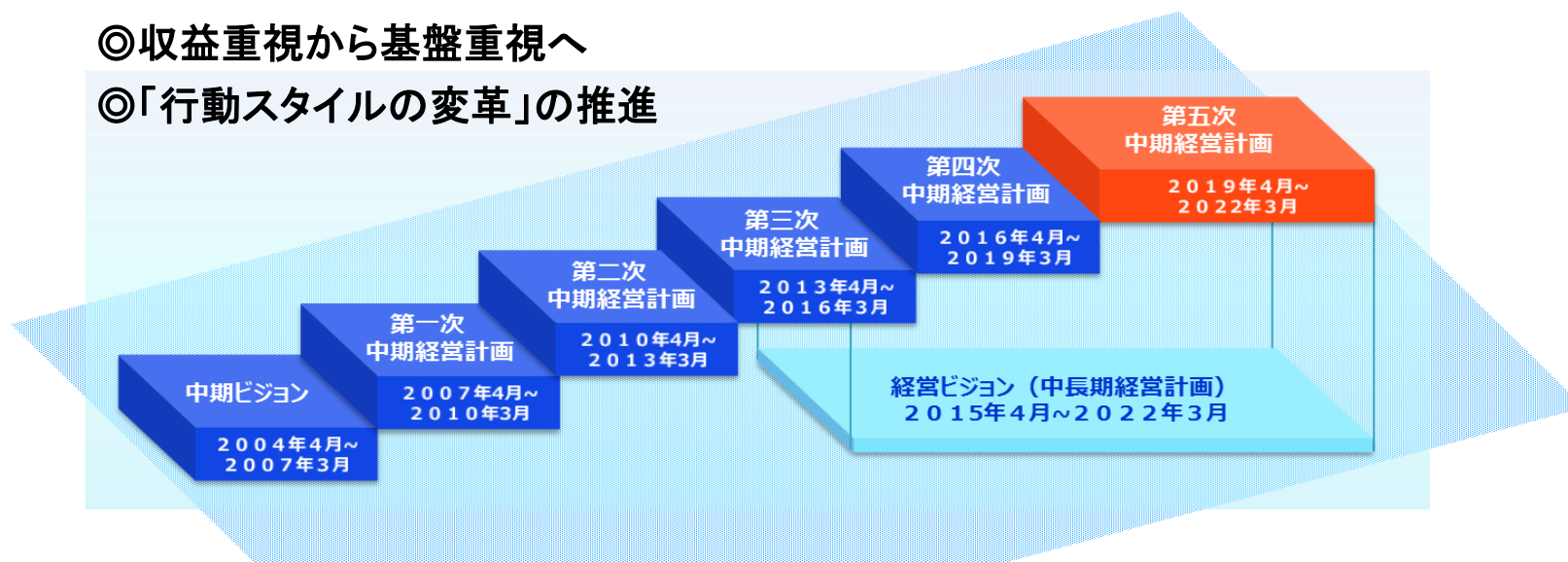


経営ビジョンの推進ポスター

「経営ビジョン」 4つのビジョン	Vision.1 お客さまからの信頼度 No.1の会社 Vision.2 社員が誇りをもって働き自己実現できる会社 Vision.3 金融サービスと情報発信で地域社会の発展に貢献する会社 Vision.4 ビジネス構造の変革に挑戦し続ける会社	
「経営ビジョン」 「第五次中期経営計画」 の目指す経営指標	ストック収入による販管費カバー率 30%以上 ※2021年度目標値 ※ストック収入(投信代行・ファンドラップ報酬)	ファンドラップ預り資産 1,300億円 ※2022年3月末目標値
「第五次中期経営計画」 3つの施策	・安定収益基盤の強化 →詳細は P 18へ ・マーケット対応力の強化 →詳細は P 19へ ・サポート態勢の強化 →詳細は P 20へ	

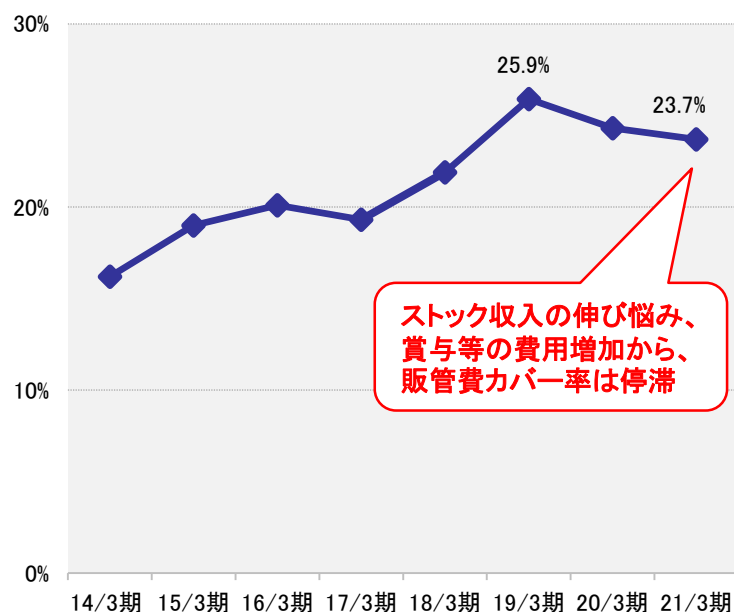
◎収益重視から基盤重視へ

◎「行動スタイルの変革」の推進

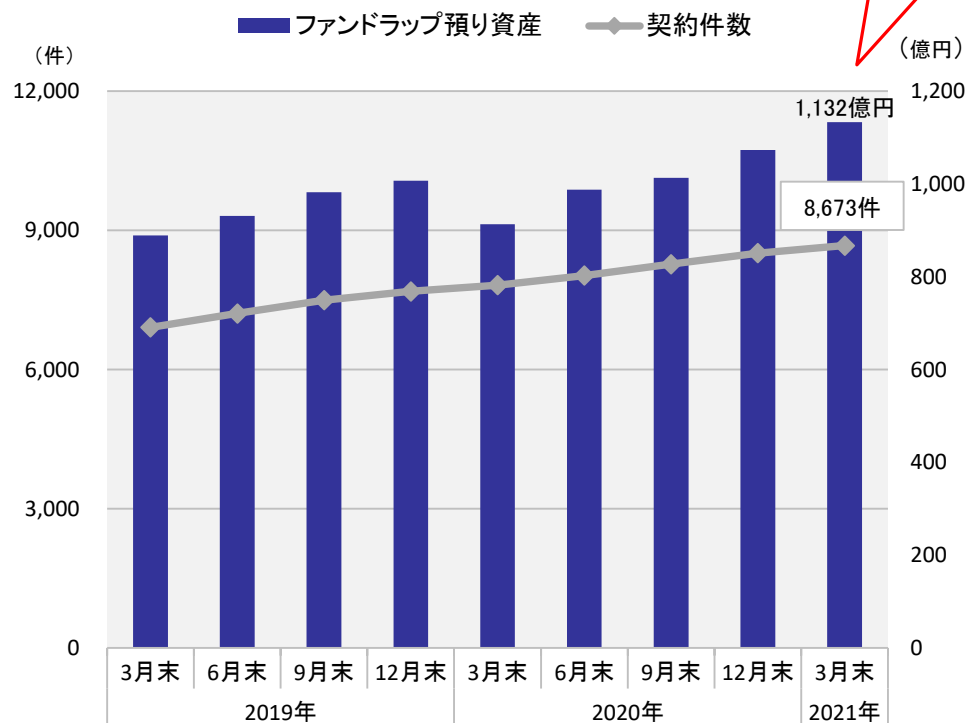


- 販管費カバー率は、期末の投信・ファンドラップ残高は過去最高水準となるものの、コロナ禍による期初の時価残高の減少が影響し、2020年度は23.7%と停滞
- ファンドラップ預り資産は、前年度から219億円増加し1,132億円と過去最高、契約件数も着実に増加

■ ストック収益による販管費カバー率の推移

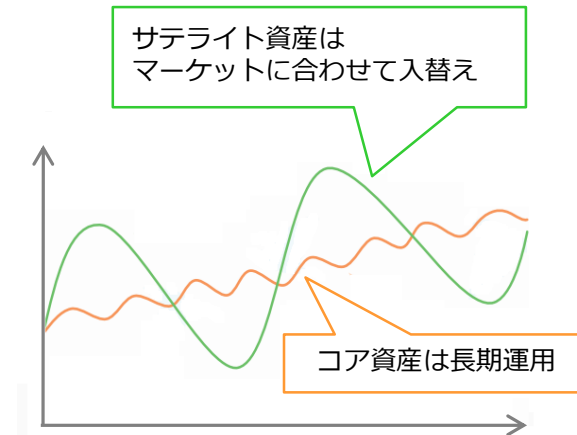


■ ファンドラップ預り資産と契約件数

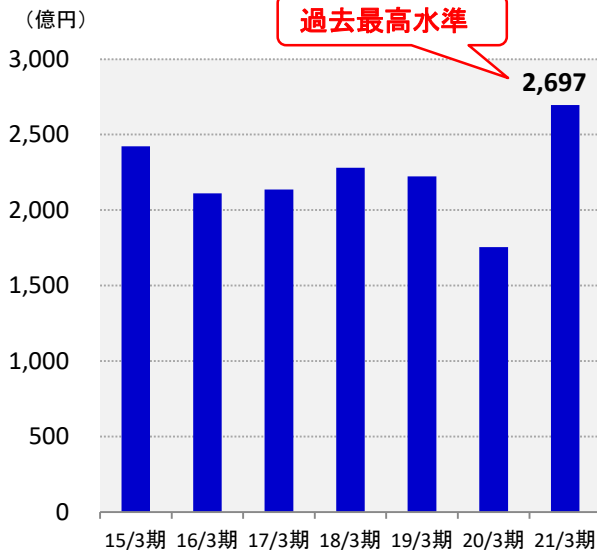


■ コア・サテライト戦略の成果

- ◎ コア資産（コアファンド※とファンドラップ）の残高、保有者数が過去最高水準
※ 低リスクで安定性重視の投資信託を中心に当社が選定したファンド
- ◎ 期末の株式投資信託の預り残高は、過去最高水準
- ◎ 全ファンドに占めるコア資産の比率が上昇
- ◎ 投信（ラップ含む）の解約率が低下し、平均保有期間2.79年と改善傾向

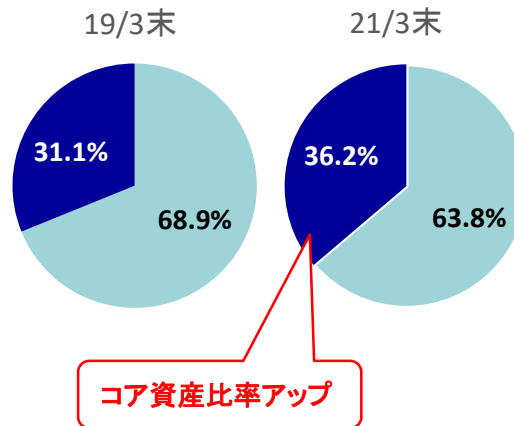


■ 株式投資信託の預り残高

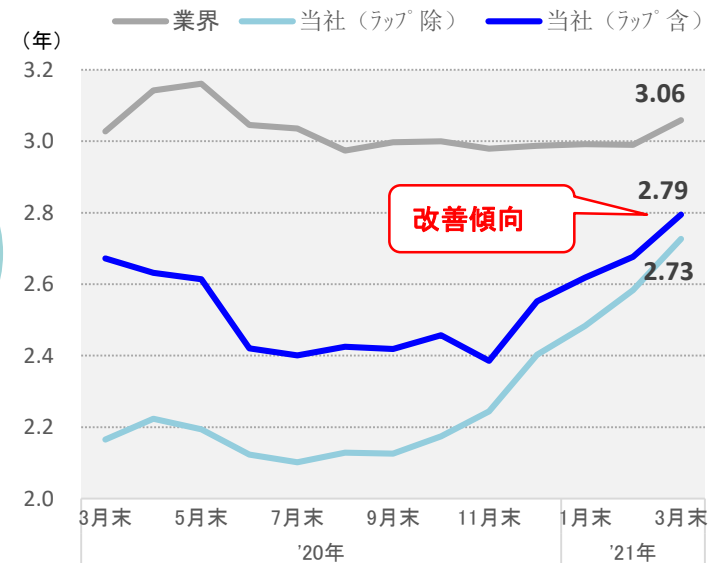


■ コア資産比率

（コアファンド+ファンドラップ/全投信+ファンドラップ）



■ 投信平均保有期間



■国内株式

◎「日本株再評価銘柄」※の保有者数、残高は順調に増加

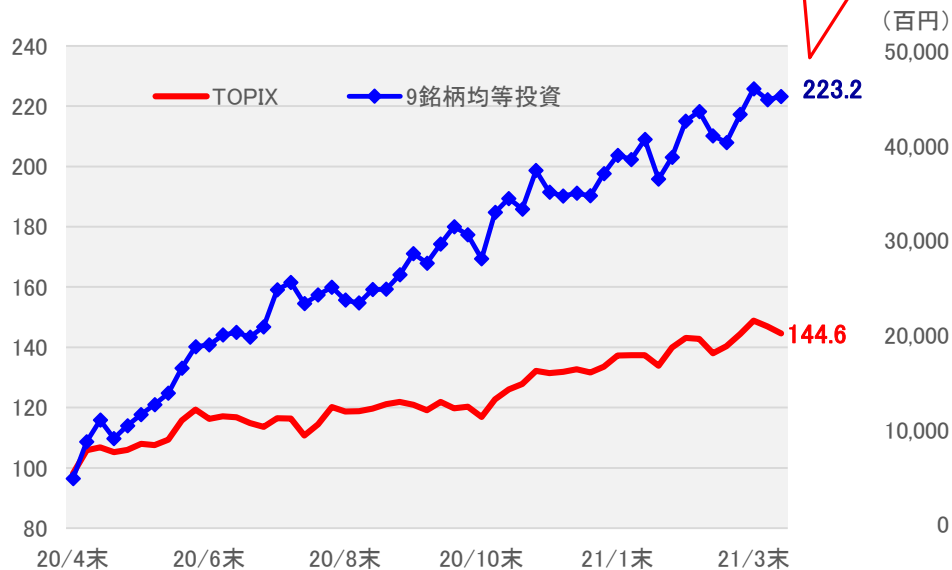
※ 成長性のある企業を中心に当社のアナリストが選定した9銘柄

◎選定銘柄のパフォーマンスは良好 →仮に選定9銘柄へ均等投資した場合、TOPIXを大幅に超過

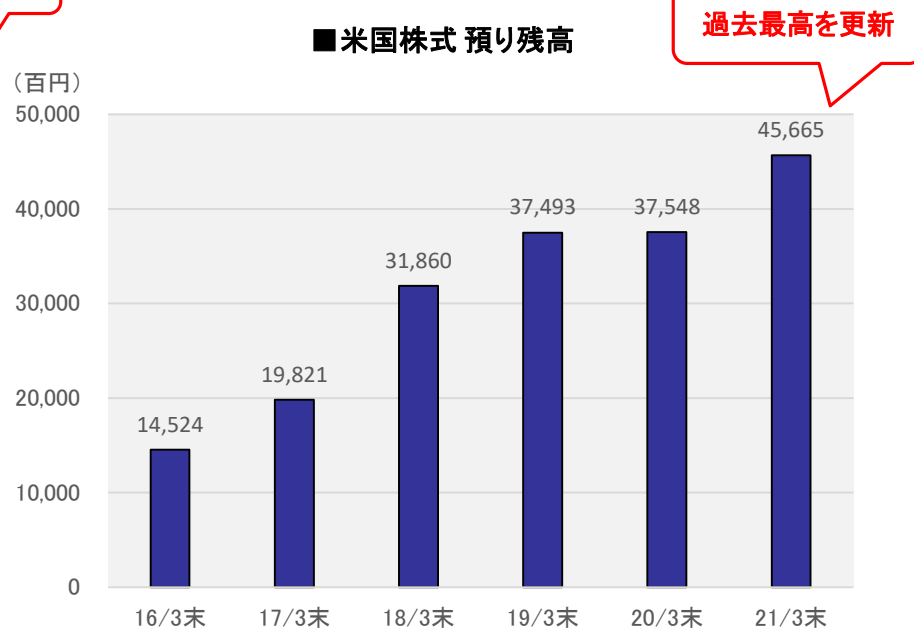
■米国株式

◎米国株式預り残高は過去最高を更新

■日本株再評価銘柄とTOPIXの指数比較



■米国株式 預り残高



■ 営業店支援

◎カスタマーセンターの強化

- ・人員を増強し、営業店のサポート(アウトバウンド、受注態勢、各種問い合わせ窓口)を拡充する

◎インフラ整備

- ・コロナ禍の在宅勤務の体制整備
(Ipadによる株価情報、お客さま情報の閲覧、会社貸与の携帯電話による受注態勢)
- ・営業情報支援システム(TMAPS)の改修による営業業務の効率化や事務ミス防止
- ・WEBスタジオを設置し情報発信力を強化

◎営業サポート要員の増強

- ・支店長経験のあるシニア社員を営業店に配置(支店長の代行業務等をサポート)
- ・お客さまフォローのための人員配置



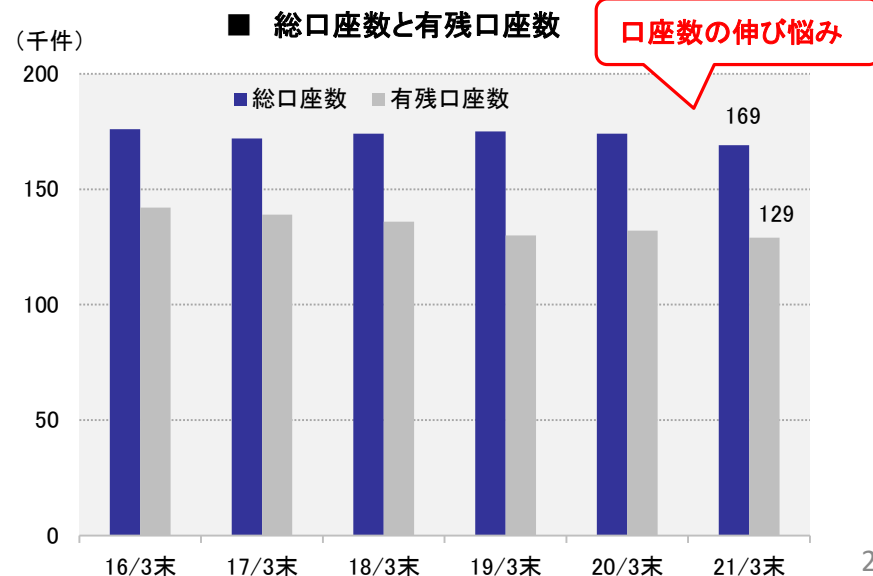
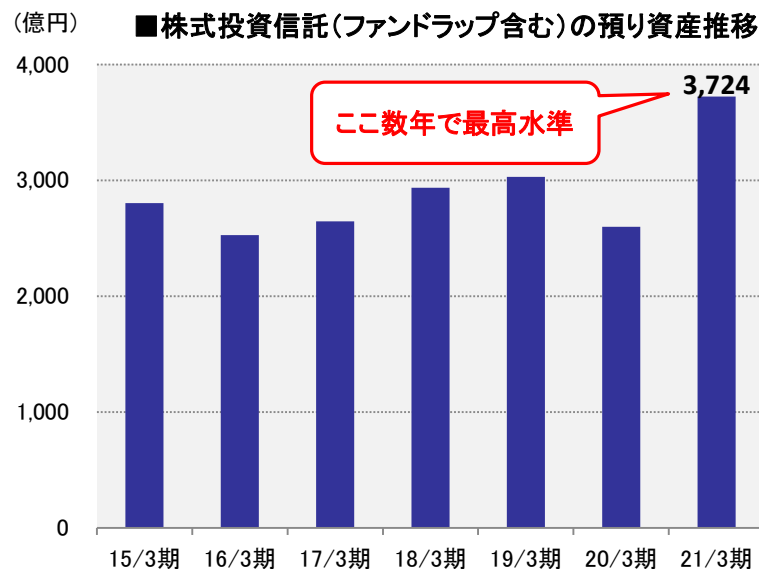


取組みと成果

- ・株式投資信託(ファンドラップ含む)の預り資産残高が、経営ビジョンを掲げた2015年以降で最大
- ・営業員評価項目の一つとして、お客さまの実現損益と評価損益を計測
- ・お客さまの利便性向上のため、積立投信の買付に銀行口座自動引き落としを追加
- ・「健康経営優良法人2021(大規模法人部門)」に認定
- ・未来サポート制度により、子どもたちの未来につながる活動を継続

課題

- ・更なる安定収益基盤の拡充
- ・お客さまの最善の利益の追求
- ・多様な人材の管理者等への登用、シニア社員の働きがい考慮した配置
- ・SDGs活動の一環として地域貢献活動等の推進
- ・お客さまの高齢化への対応



■「経営ビジョン」「第五次中期経営計画」の最終年度として、計数目標の達成を目指す

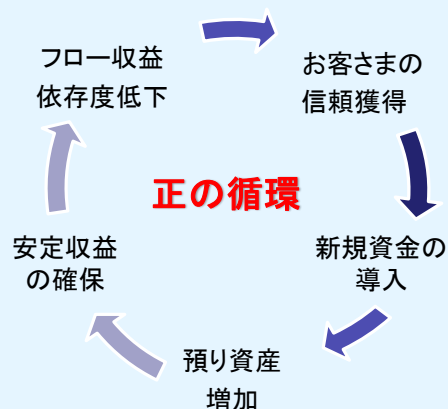
＜基本概念は継続＞

- ・3つの施策を強化 → ①安定収益基盤の強化 ②マーケット対応力の強化 ③サポート態勢の強化
- ・経営指標の達成へ → 「販管費カバー率30%以上(2021年度)」「FW預り資産1,300億円(2022年3月末)」

■「行動スタイルの変革」の総仕上げ

- ・お客さまの利益を最優先 → 「お客さま本位の業務運営」の実践
- ・ファンドラップ、および安定性重視の投資信託をお客さまのポートフォリオの中心に据えるコア・サテライト戦略を強化

「行動スタイルの変革」 ～さらなる深化



信頼の連鎖

■お客さまの利益を最優先、預り資産増大への取組み

- ・コア・サテライト戦略とお客さまニーズに沿った提案
- ・日本株再評価銘柄への取組みを強化
- ・営業員の評価→お客さまの損益実績を評価項目として継続

■営業支援体制の強化

- ・カスタマーセンターによるサポート体制を強化
- ・営業サポート要員の増強
- ・タブレット端末等の機能向上を進め営業活動の効率化

■コロナ禍の長期化を見据えたオンラインの活用

- ・Webスタジオの活用による発信力強化
- ・オンラインセミナー等、お客さまへの情報発信
- ・eラーニングの活用による社員のスキルアップ

■積立投信、資産承継等の推進

- ・新規口座の獲得、若年層や資産形成層へのアプローチ



■ 創業100周年 記念配当実施

本年3月末と9月末の株主に対して創業100周年記念配当を実施予定

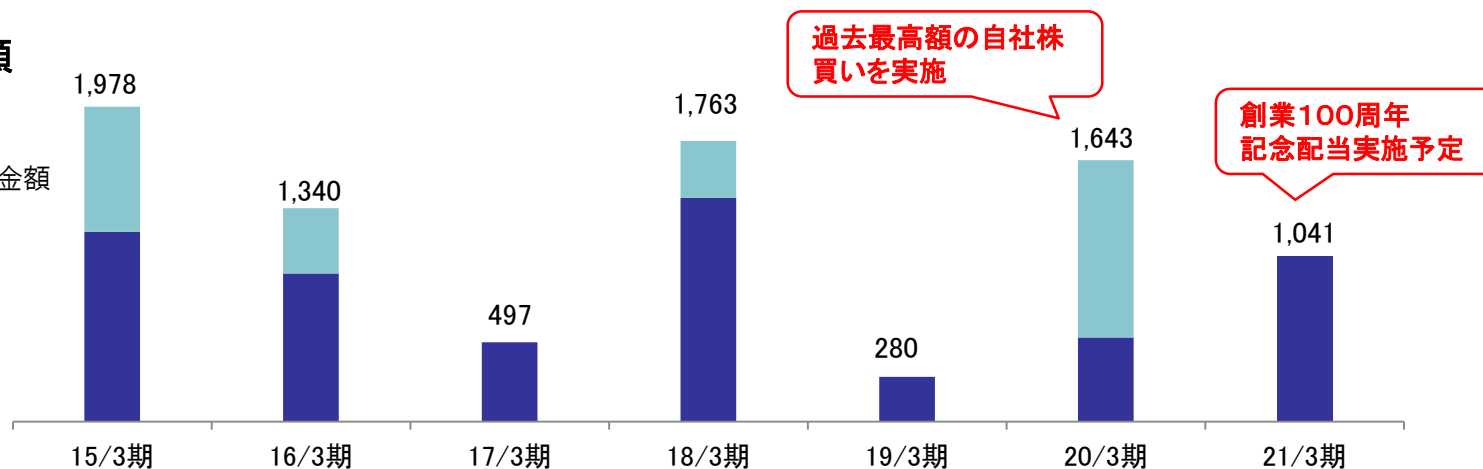
期末配当10円(普通配当8円+記念配当2円)に加え、2021年度中間配当時に記念配当2円を実施予定

■ 配当方針 配当性向50%程度を基本に、継続性や純資産の状況その他の経営判断を考慮し実施

■ 総還元額

(百万円)

■ 自己株式取得金額
■ 配当総額



1株当たり配当(円)	15/3期		16/3期		17/3期		18/3期		19/3期		20/3期		21/3期		中間
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間
半期	5.5	11	6	7	2	5	5	15	2	2	4	4	6	10 普通8 記念2	未定 記念2
年間	16.5		13		7		20		4		8		16		—
配当性向	48.5%		47.0%		51.6%		54.2%		150.4%		67.4%		55.1%		—
総還元性向	79.6%		67.6%		51.7%		68.3%		151.8%		207.6%		55.1%		—

3次中計

4次中計

5次中計

取締役人数	8名(うち社外取締役2名)
監査役人数	4名(うち社外監査役2名)

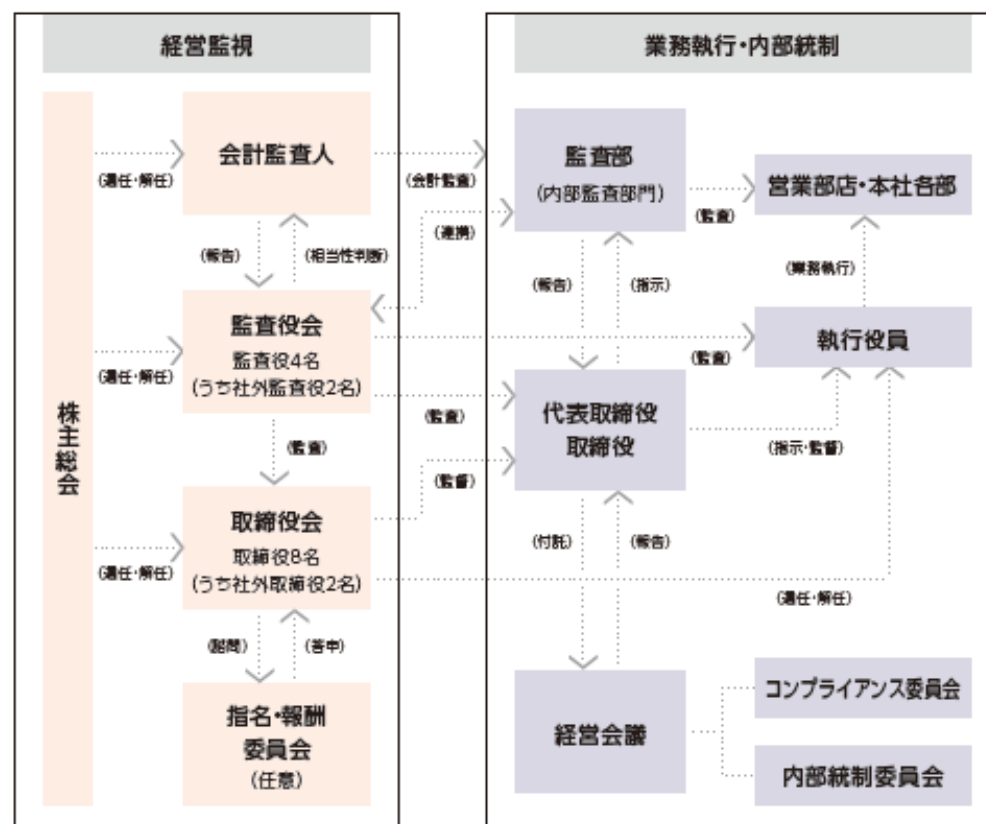
■6月24日株主総会の承認をもって、
女性の社外監査役が就任予定

■監査役制度を採用

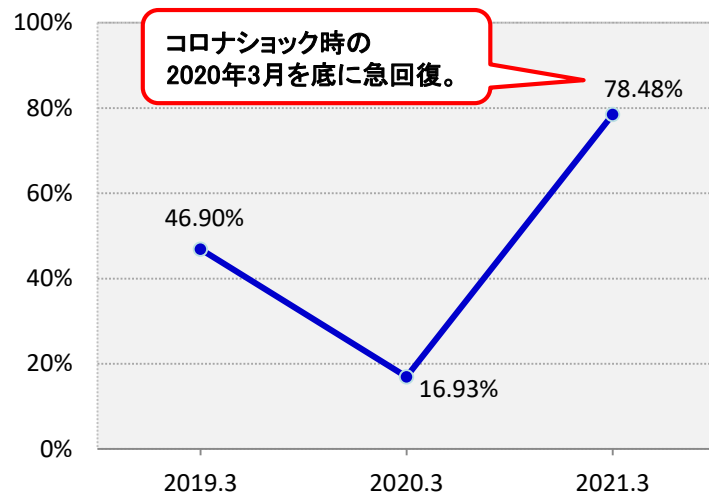
監査役会が取締役会を監査することで、
経営の透明性・ガバナンス機能を強化

■指名・報酬委員会を任意に設置

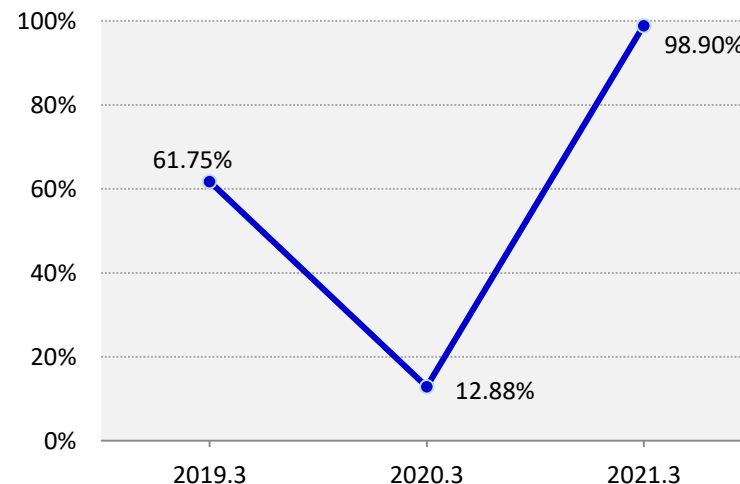
コーポレート・ガバナンス体制図



■ 共通KPI 投信の運用損益0%以上の顧客割合



■ 共通KPI ファンドラップの運用損益0%以上の顧客割合



■ 投資信託の預り残高上位20銘柄の コスト・リターン/リスク・リターン

残高加重平均値	コスト	リターン
	2.16%	9.69%

残高加重平均値	リスク	リターン
	13.57%	9.69%

■ 投資信託のお預り残高上位20銘柄

銘柄名
①アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型
②投資のソムリエ
③東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)
④スパークス・M&S・ジャパン・ファンド
⑤ダイワJ-REITオープン(毎月分配型)
⑥ニッセイオーストラリア高配当株ファンド(毎月決算型)
⑦スパークス・プレミアム・日本超小型株式ファンド
⑧アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース(為替ヘッジなし)
⑨三井住友・げんきシニアライフ・オープン
⑩DIAM J-REITオープン(毎月決算コース)
⑪アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Gコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型
⑫ラサール・グローバルREITファンド(毎月分配型)
⑬日本優良成長株オープン(米ドル投資型)
⑭アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
⑮ミューダント
⑯ダイワ・US-REIT・オープン(毎月決算型) Bコース(為替ヘッジなし)
⑰ジャナス・米国中小型成長株ファンド(年4回決算型)
⑱東京海上・円資産バランスファンド(年1回決算型)
⑲グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド
⑳アジア好利回りリート・ファンド

◎健康経営外部評価

- ・ 2021年3月健康経営優良法人2021（大規模法人部門）に認定
- ・ 2020年8月健康優良企業として「銀の認定」



【経済産業省・日本健康会議認定】

◎メンタルヘルス対策

- ・ ライン管理者はメンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種を取得へ

◎社員の健康管理推進

- ・ 健康アプリの活用、社内歩くイベント開催

◎働き方改革

- ・ 有給休暇取得推進、労働時間の抑制等
- ・ 専門職手当を新設



認定番号：健銀第1221号

【健康保険組合連合会認定】

■ 関東一円に25店舗 展開



■ 創業の地、茨城県内の出店状況

(店舗数)



水戸支店ビル(茨城県水戸市)



新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願い、拡大防止対策と地域への支援に取り組んでまいります。

お客さま

- ・一部の営業店で店頭対応の事前予約制を実施
- ・お客さまから要請のない訪問を控え、電話を中心とした営業活動

従業員

- ・部署の規模に応じたチーム編成によるローテーション勤務、シフト勤務、在宅勤務
- ・基礎疾患のある社員への配慮
- ・オンライン活用の体制整備

社会

- ・茨城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金へ寄付
- ・子ども食堂への食料品や活動備品を寄付

当社の活動	ESGとの関連	SDGsとの関連
■冷暖房温度の適正管理 ■名刺、コピー用紙等の再生紙利用 ■SDGs債の取り扱い	E: 環境 (Environment)	  
■子ども食堂への寄付 ■こどものみらい古本募金 ■フードバンク茨城への活動支援	S: 社会 (Social)	  
■障がい者雇用支援団体への寄付		  
■土曜学習への講師派遣 ■産学連携講座の実施		
■地域清掃活動・ボランティア活動 ■AEDや筆談ボードの設置 ■災害復興支援 ■植林活動への寄付と参加		 
■働き方改の実践 ■経営への取り組み		  
■コーポレート・ガバナンスの強化 ■コンプライアンスの徹底 ■リスク管理態勢の整備 ■お客さま本位の業務運営	G: ガバナンス (Governance)	 

■ 寄付を通じた支援活動

●創業100周年記念寄付

創業の地である茨城県水戸市と科学技術で日本をリードする茨城県つくば市に企業版ふるさと納税を活用した寄付を実施



●茨城県新型コロナウイルス感染症対策医療従事者応援金へ寄付

●未来サポート制度

こども食堂等、地域振興や社会貢献のための慈善活動を行っている慈善団体やNPO法人に対し、2016年度から今まで15団体に寄付を実施



參考資料



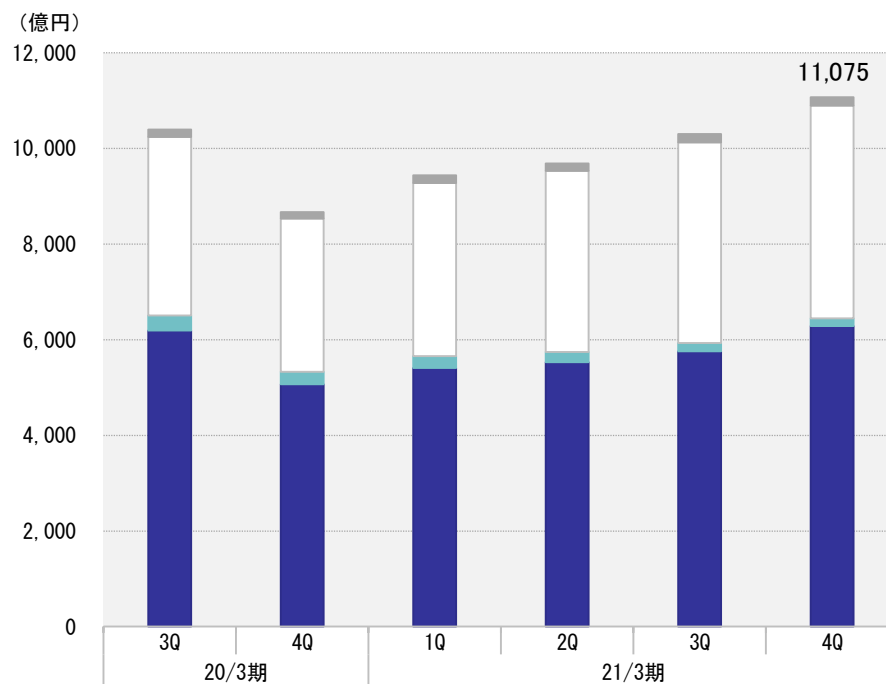
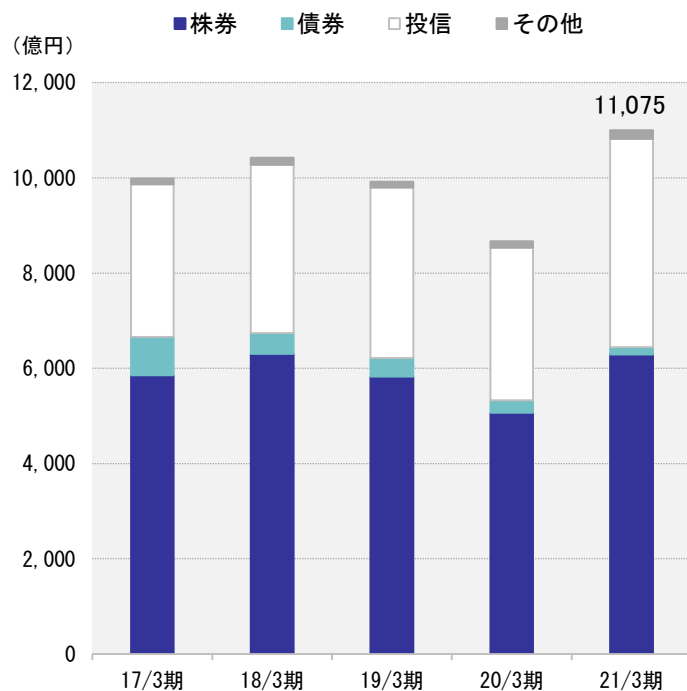
預り資産の状況

MITO SECURITIES CO., LTD.

(億円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
預り資産	9,989	10,421	9,921	8,666	11,075
株券	5,854	6,305	5,826	5,068	6,288
債券	807	436	390	260	157
投信	3,203	3,534	3,583	3,205	4,453
その他	125	145	122	133	176

20/3期		21/3期			
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
10,394	8,666	9,436	9,683	10,302	11,075
6,191	5,068	5,413	5,532	5,755	6,288
319	260	247	215	180	157
3,734	3,205	3,620	3,786	4,192	4,453
150	133	156	151	175	176





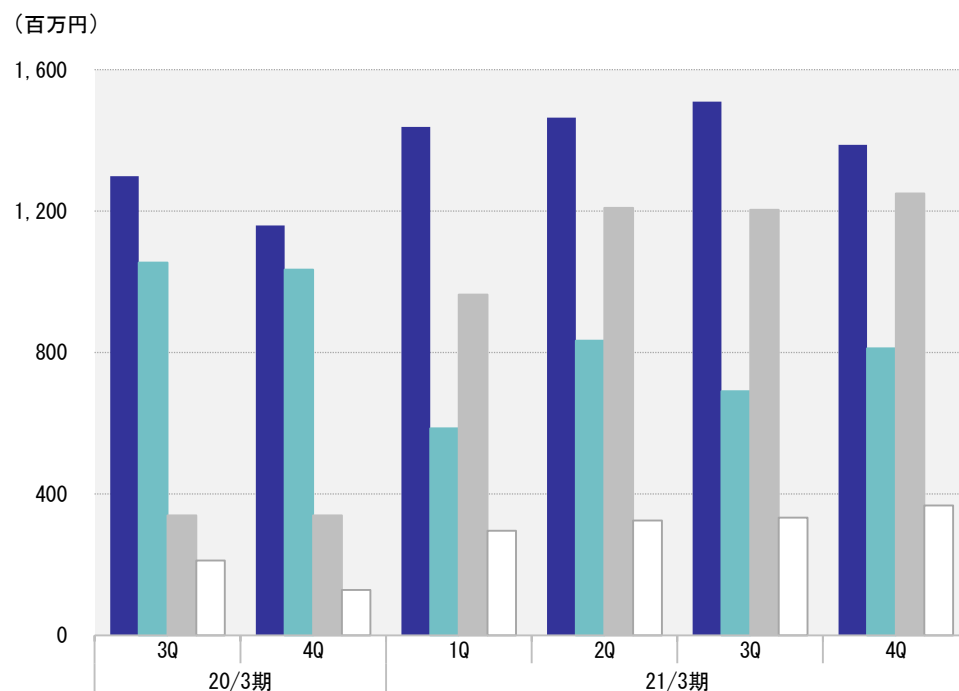
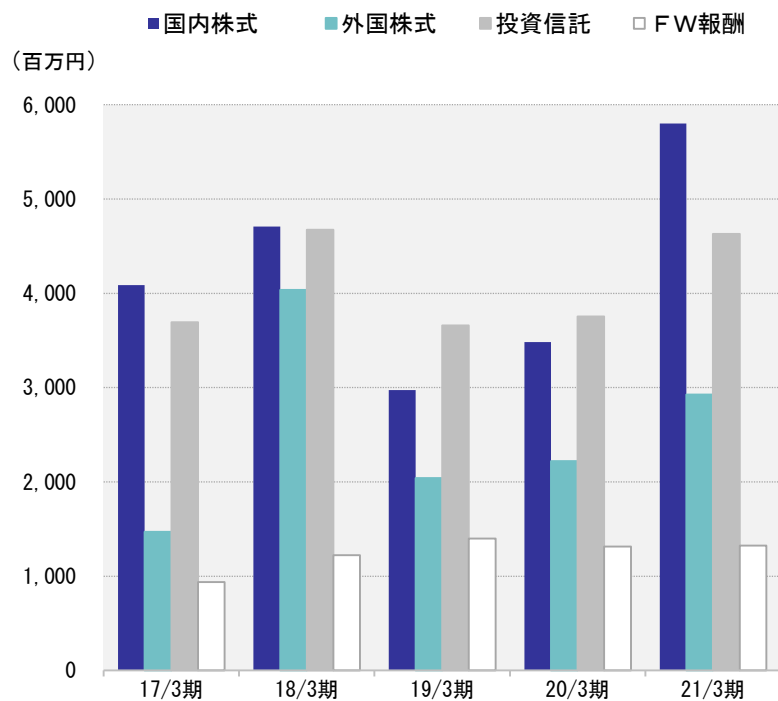
主要な収益の推移

MITO SECURITIES CO., LTD.

(百万円)

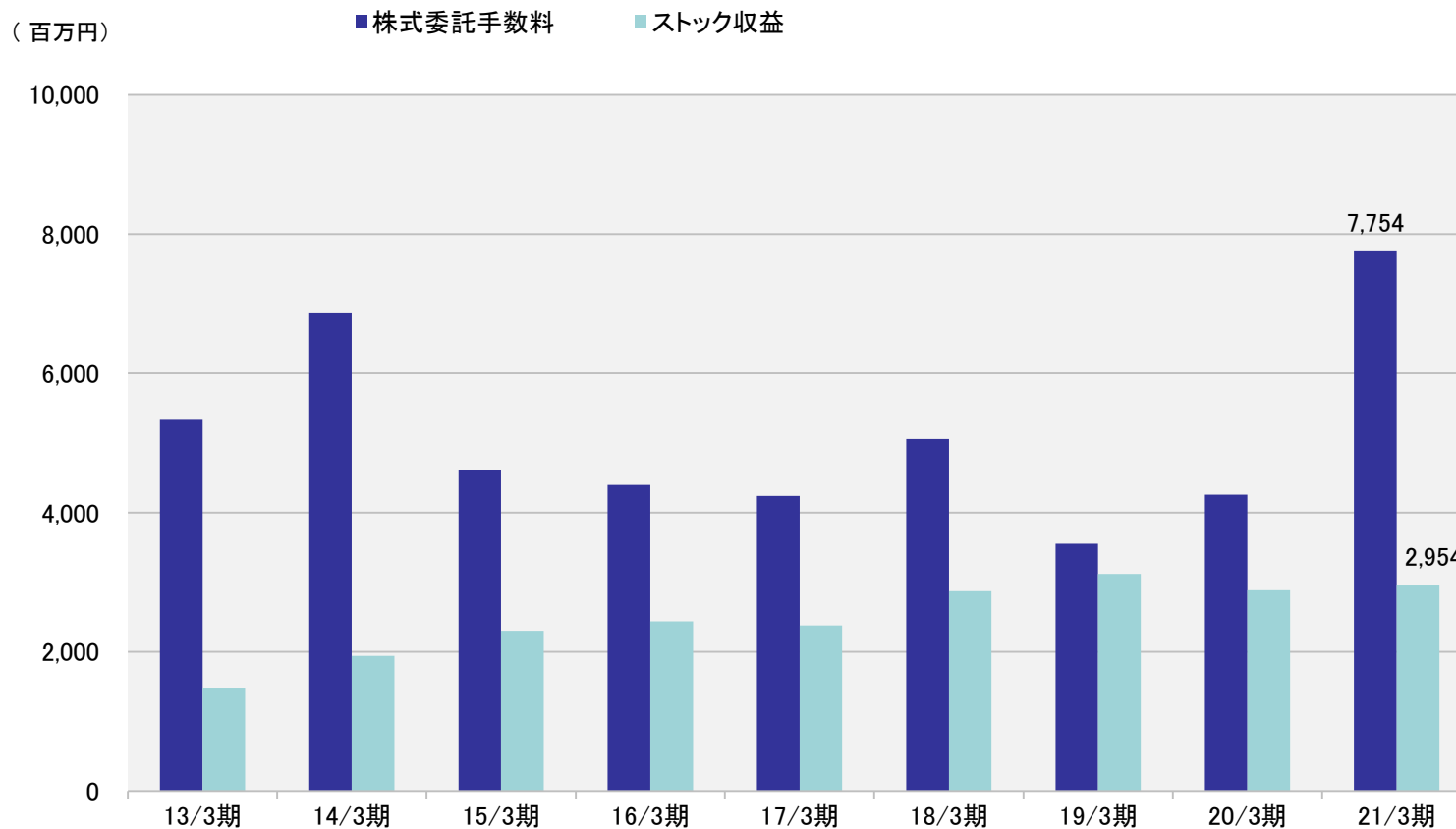
	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
国内株式	4,088	4,709	2,975	3,483	5,801
外国株式(委託・店頭)	1,469	4,037	2,040	2,220	2,925
投資信託(代行手数料含む)	3,694	4,675	3,659	3,755	4,629
ファンドラップ報酬	936	1,223	1,398	1,315	1,324

20/3期		21/3期			
3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
1,106	891	1,438	1,465	1,510	1,388
573	739	586	834	691	812
1,055	1,035	964	1,209	1,204	1,250
340	340	296	325	333	368



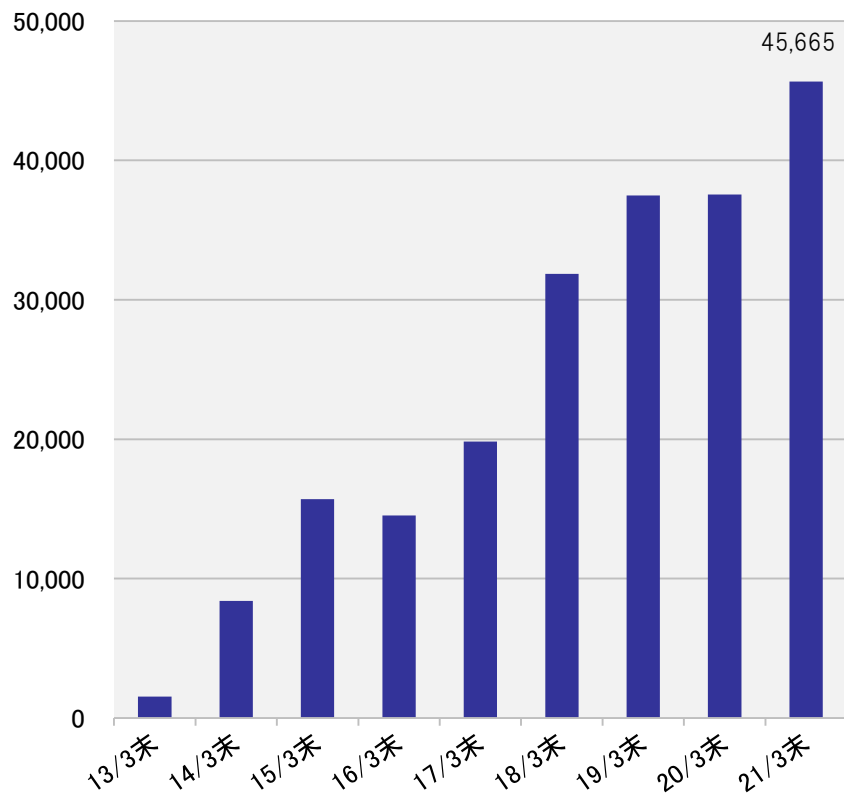


■ 株式委託手数料およびストック収益(投資信託代行手数料・ファンドラップ報酬)の推移



■ 米国株式 預り資産の推移

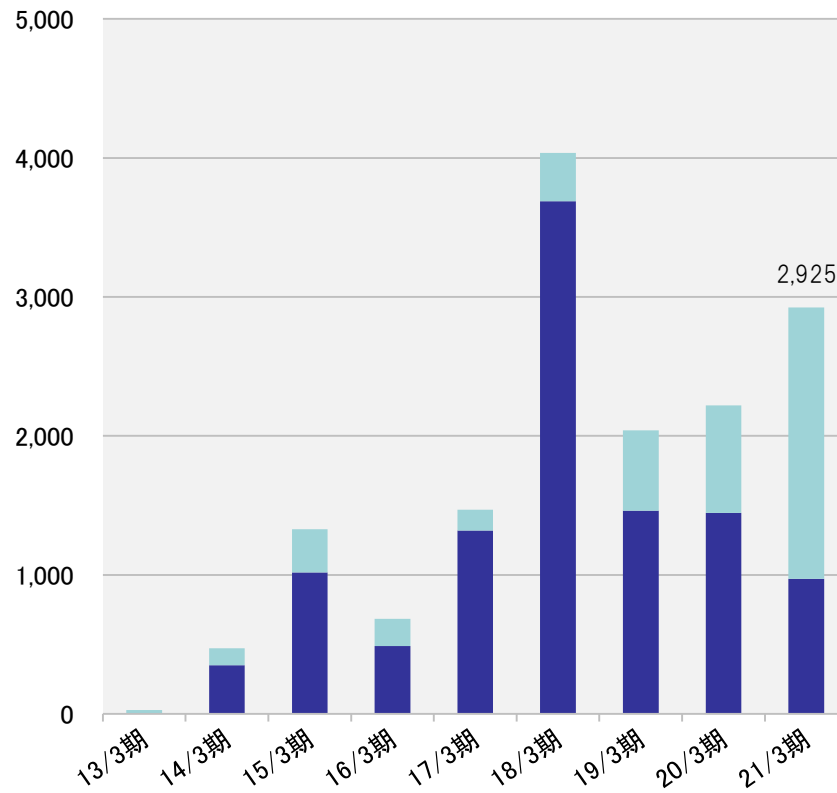
(百万円)



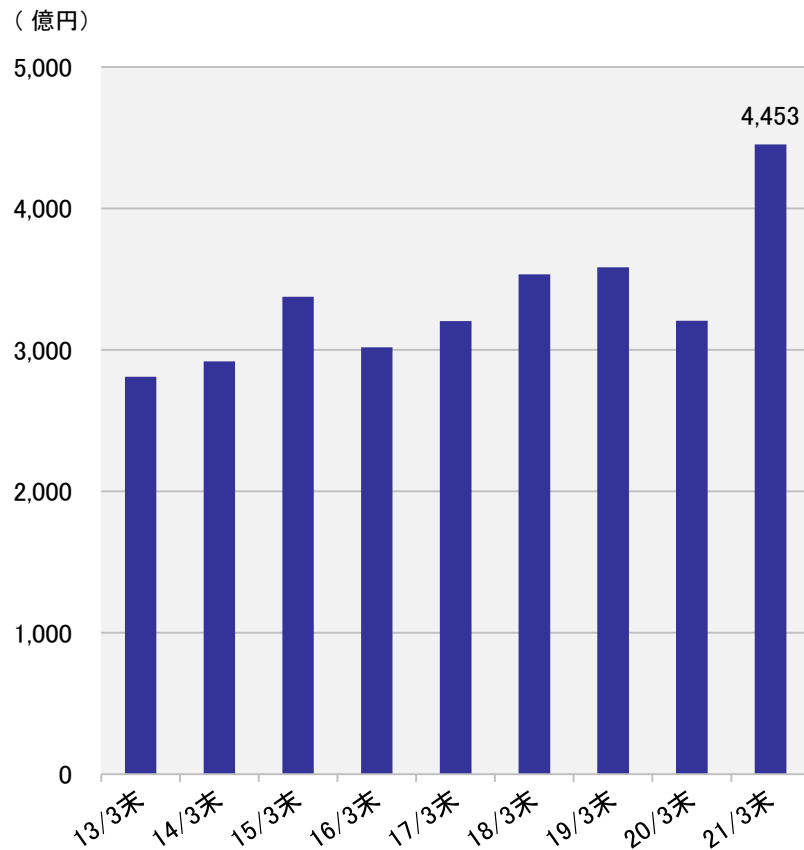
■ 米国株式 収益の推移

(百万円)

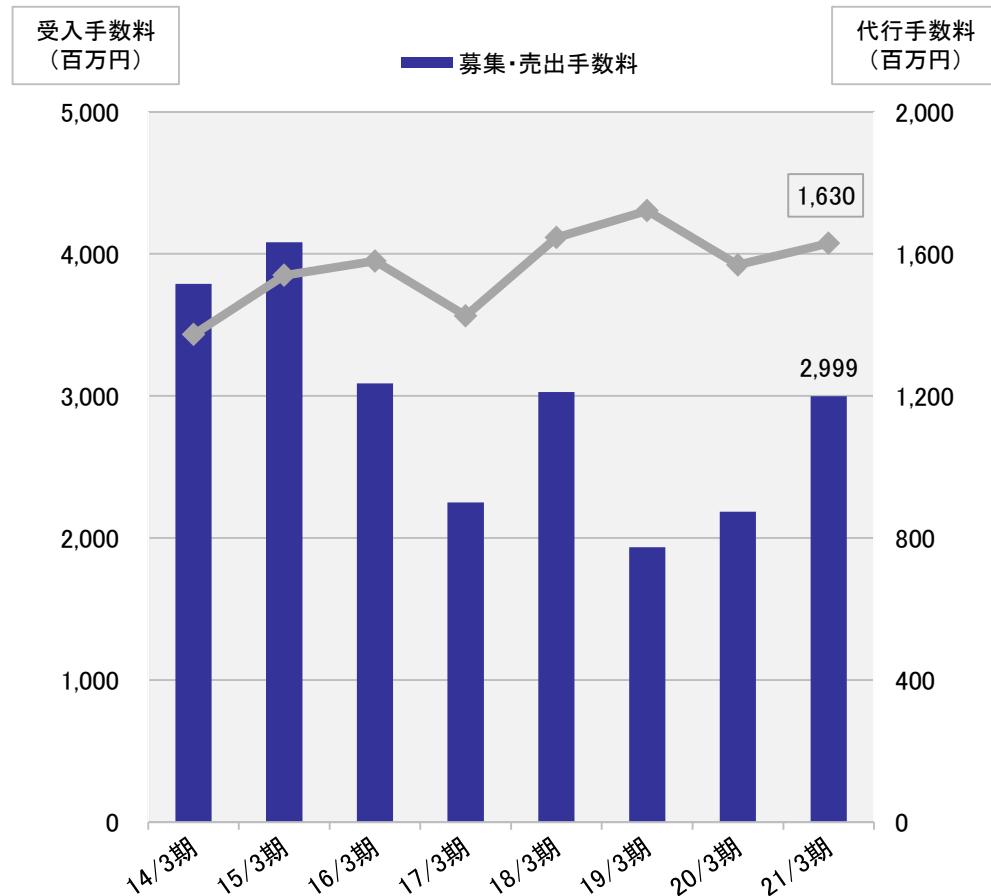
■ 仕切取引 ■ 委託取引



■ 投資信託 預り残高の推移



■ 投資信託 受入手数料・代行手数料の推移



※ ファンドラップ除く



■ NISA口座開設状況

(件)

		NISA口座			ジュニアNISA 口座開設数
		NISA口座開設数	稼働口座数※	稼働率	
2015年	3月末	44,301	20,323	45.9%	—
	9月末	45,607	24,161	53.0%	—
2016年	3月末	46,714	27,547	59.0%	—
	9月末	46,898	28,778	61.8%	342
2017年	3月末	47,015	29,667	63.7%	413
	9月末	46,459	30,718	66.1%	460
2018年	3月末	46,676	31,763	68.0%	526
	9月末	47,100	32,732	69.5%	528
2019年	3月末	47,552	33,747	71.0%	550
	9月末	47,411	34,296	72.3%	580
2020年	3月末	47,287	34,718	73.4%	620
	9月末	47,333	35,497	75.0%	642
2021年	3月末	47,313	36,245	76.6%	664

※稼働口座数は、NISAスタート時からの述べ件数(累計)



お客さま口座数の状況

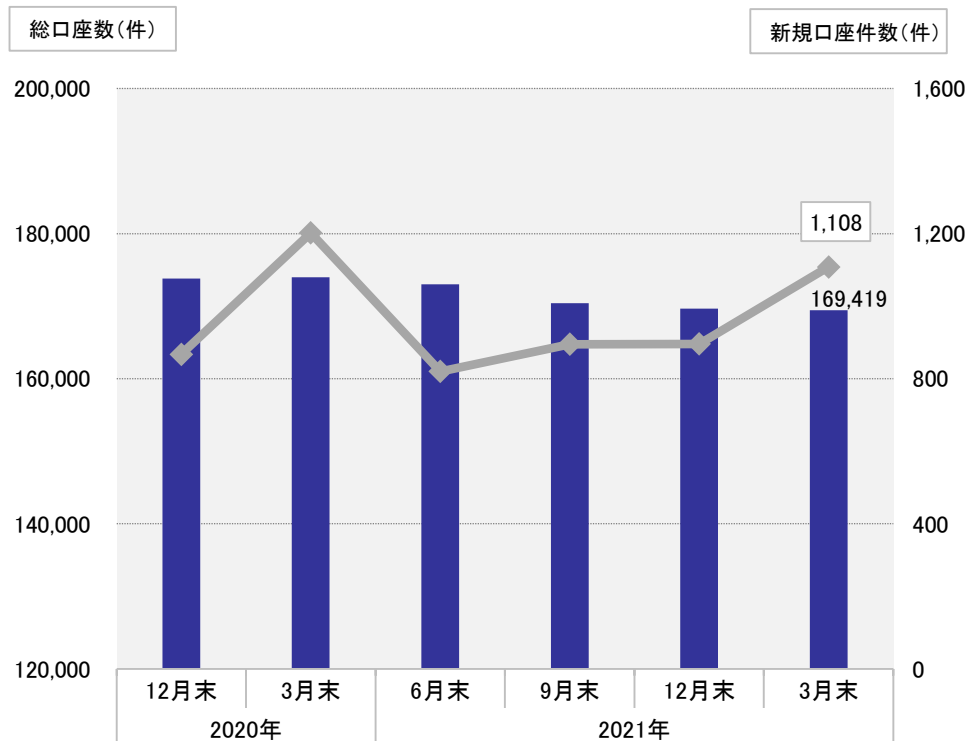
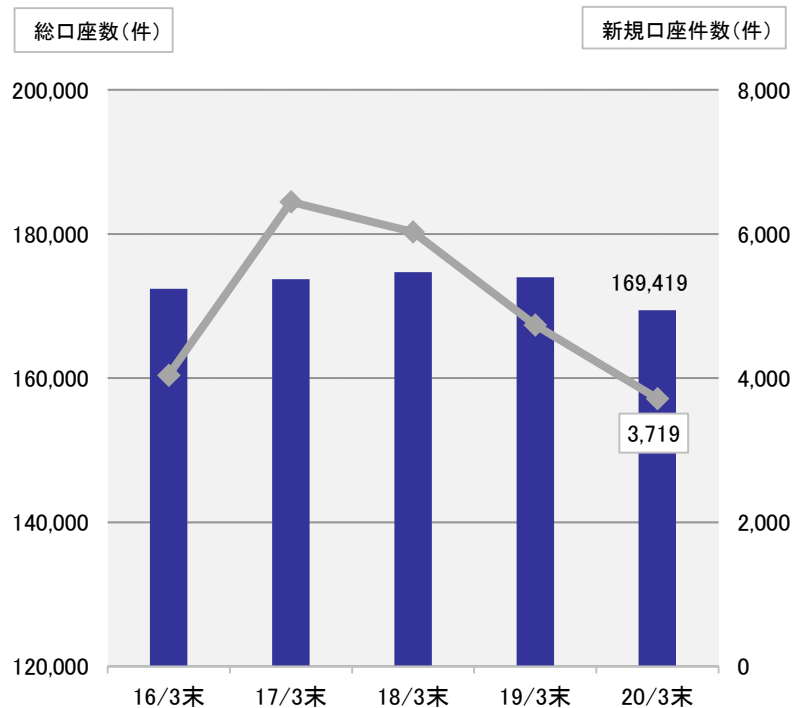
MITO SECURITIES CO., LTD.

(件)

	17/3末	18/3末	19/3末	20/3末	21/3末
総口座数	172,400	173,718	174,690	174,003	169,419
(うちリテール)	161,097	162,172	162,982	162,169	159,591
新規口座開設数	4,043	6,447	6,030	4,738	3,719

2020年		2021年			
12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
173,816	174,003	172,999	170,400	169,652	169,419
161,986	162,169	161,281	160,555	159,829	159,591
867	1,202	820	895	896	1,108

■ 総口座数 ▲ 新規口座開設数



■ 従業員構成

(人)

	社員数	性 別			職種別	
		男性	女性	女性比率	営業	事務
16/3末	716	542	174	24.3%	432	284
17/3末	738	543	195	26.4%	448	290
18/3末	752	549	203	27.0%	448	304
19/3末	730	543	197	27.0%	410	320
20/3末	720	527	193	26.8%	395	325
21/3末	723	538	185	25.6%	388	335

※役員、パート、外務員、派遣社員除く

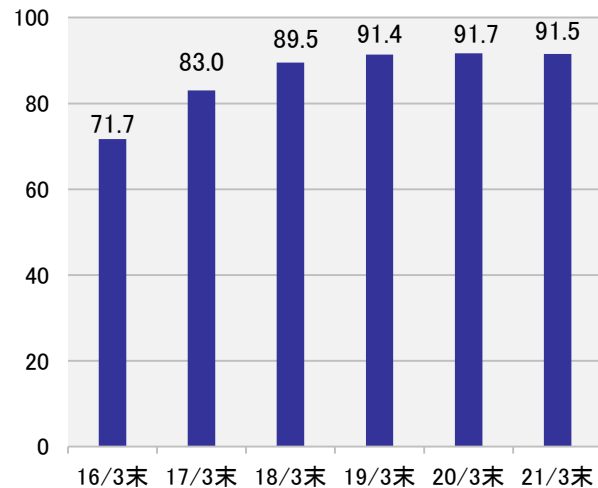
■ 管理者数

(人)

	管理者数	男性	女性	女性管理者比率
16/3末	162	148	14	8.6%
17/3末	164	147	17	10.4%
18/3末	165	148	17	10.3%
19/3末	164	146	18	11.0%
20/3末	160	139	21	13.1%
21/3末	158	137	21	13.3%

■ FP取得率

(%)



■ 採用計画

年度	採用者数
2017年度実績	50名
2018年度実績	43名
2019年度実績	52名
2020年度実績	50名
2021年度計画	62名
2022年度計画	65名



< お問い合わせ先 >

水戸証券株式会社 経営企画部広報室

東京都中央区日本橋 2-3-10

TEL : 03-6739-5531

kouhou@mito-sec.jp

URL : <https://www.mito.co.jp/>

商号等 / 水戸証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第181号
加入協会 / 日本証券業協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会